

【報道関係各位】

## 2012年 新成人に関する調査

- 私たちの世代が「日本を変えてゆきたい」約8割
- 7割超が「政治」「経済」に関心あり。日本は「雇用対策」「景気対策」に取り組むべき
- 希望する職業は、1位「公務員」 2位「技術系の会社員」
- 国民年金を「将来、自分がもらえるか不安」9割

2012年1月5日  
株式会社マクロミル  
(証券コード:東証一部 3730)

インターネット調査会社の株式会社マクロミル(本社:東京都港区、代表:杉本哲哉)は、今年(2012年)、成人式を迎える全国の新成人を対象に、「2012年 新成人に関する調査」を実施いたしました。

調査手法はインターネットリサーチ。調査期間は2011年12月6日(火)~12月8日(木)。有効回答数は500名から得られました。

### 【調査結果概要】

#### 【1】 私たちの世代が「日本を変えてゆきたい」約8割

今年成人式を迎える新成人に、日本の未来についてどう考えているか尋ねたところ、「明るいと思う」と回答した人は20%となりました。一方、「暗いと思う」という回答は80%でした。

そんな日本について、自分たちの世代が国を変えてゆきたいと思うか尋ねると、「そう思う」と回答した人は77%に達しています。‘グローバル化すべき’ ‘年金・医療制度の整備が必要’ など今後の日本のあり方について触れ、日本を世界に誇れる国にしたいという意見が寄せられました。(P4)

#### 【2】 7割超が「政治」「経済」に関心あり。「雇用対策」「景気対策」に取り組むべき

政治・選挙・経済に対する関心を尋ねたところ、政治に対して「関心がある」と回答した人は72%、選挙に対しては59%、経済に対しては76%となりました。(P9) これから日本が取り組むべきと思うことについて尋ねたところ、「雇用対策」が70%で最多、次いで「景気対策」が66%となっています。(P11) 関心がある政治・経済・社会問題については、「若者の就職率の低さ」が63%で最多、次いで「増税」「年金制度」が各々45%、「震災地復興の遅れ」「TPP」がともに39%となっていました。(P10)

#### 【3】 希望する職業は、1位「公務員」2位「技術系の会社員」

今後働き始める新成人に、将来どのような職業に就きたいか尋ねました。1位は「公務員」で19%、2位が「会社員(技術系)」15%、3位「会社員(サービス系)」「会社員(事務系)」が各々6%となりました。公務員では、「地方公務員」「教員」が人気となっています。

就きたい仕事が決まっている人に対し、就職に対して不安を感じているか問うと「不安を感じている」という回答が79%と約8割を占めました。‘先輩たちの就職難を見ている’ ‘募集人員が少ない’ ‘正社員になれるか不安’などの声があり、先々を焦燥している人も多いようです。(P8)

#### 【4】 国民年金を「将来、自分がもらえるか不安」9割

国民年金制度に関する知識について尋ねたところ、学生であっても20才から加入しなければならないことを8割以上の人認知していました。月額保険料、受給できる年齢や受給できる金額に関しては3~4割が理解していました。国民年金制度に対する意見・態度に関しては、「将来、自分がもらえるか不安」という回答が93%、「国民年金は必要な制度だ」と考える人は72%となっています。一方で、「持続可能な制度だ」という人は29%に留まっており、制度の必要性を感じてはいるものの、疑義の念があり、将来自分がもらえるか不安を抱えている人も多いようです。(P12)

▼詳細レポート「年末年始に関する調査」URL

[http://www.macromill.com/r\\_data/20120105shinseijin/index.html](http://www.macromill.com/r_data/20120105shinseijin/index.html)

「2012年 新成人に関する調査」

【調査結果詳細】

■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	全国
調査対象:	平成3年～平成4年生まれの男女のうち、2012年成人式の参加対象となる人（マクロミルモニタ会員）
有効回答数:	合計500サンプル（男性250サンプル、女性250サンプル）
調査日時:	2011年12月6日（火）～12月8日（木）
調査機関:	株式会社マクロミル

I. 「未来」について

■ “日本の未来”は「明るい」と思う20%、「暗い」と思う80%

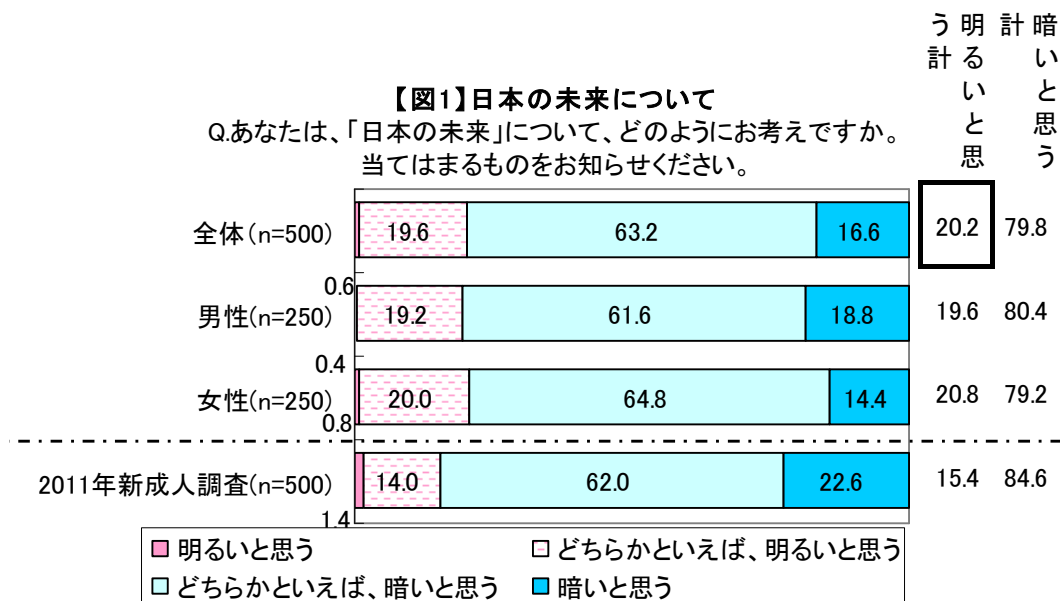
明るいと思う人は、昨年 비해 5ポイント上昇

「日本の未来」についてどう考えているか尋ねたところ、「明るいと思う（明るいと思う+どちらかといえば、明るいと思う）」と回答した人は20%となりました。一方、「暗いと思う（暗いと思う+どちらかといえば、暗いと思う）」と回答した人は80%でした。（図1）

日本の未来について「明るいと思う」理由を具体的に尋ねると、「震災から復興できると思うから」といったコメントが多々見受けられました。（図1\_1）

一方、日本の未来について「暗いと思う」理由を具体的に尋ねると、「政治家が期待できないから」「経済が停滞しているから」「震災復興が遅れているから」といった様々なコメントが見受けられました。（図1\_2）

『2011年新成人に関する調査』と比較すると、「明るいと思う（明るいと思う+どちらかといえば、明るいと思う）」と回答した人は5ポイント上昇しています。



## 【図1.1】「日本の未来」が明るいと思う理由(自由回答一部抜粋)

Q.あなたが、「日本の未来」について明るいとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

コメント	性別
2011年3月に東日本大震災が起き、東北地方は大きな被害を受けました。ですが、今では少しずつではありますが元の状態に戻ろうとしています。それは日本国民が一致団結している結果であると思います。また、日本国内だけでなく世界各国の支援のおかげだとも思います。一国が不安な状態のときに、その国民が団結できる、他国からの支援がある、そのような国の未来は明るいのではないかと思います。	男性
今年起こった震災や台風などの影響で窮地に立たされた日本ではありますが、同時に日本人は今までも現在もその逆境を跳ね返す復興や進化を遂げてきました。また、日本人ならではの「努力」や「ものづくり」の強さなどからも、これからも日本人は日本を、そして世界を進化していけるだけの力と希望を持っていると考えたので。	男性
就職難で今は厳しいかも知れないが、日本は逆境をバネに何時の時代も成長していった。これからだ。	男性
最先端の技術が進んでいて、今以上に豊かで環境にやさしい生活ができるような気がするから。	男性
今の政治経済には不安があり、今年3月に巨大地震があつて不安なことが多いが、この地震があつたことにより日本が一つになってみんなで頑張ろうとしているから。日本も捨てたものではない。	女性
これからの社会を引っ張っていく世代が明るくしていこうと考えているのなら、そうなると思う。	女性
いざというときは諸外国より助け合いの力が強く、まだまだいろいろな点において改善できると思うから	女性
日本の政治自体は今現在崩壊寸前だけど、海外には日本を愛して支えようとしてくれる人がたくさんいるから。東日本大震災でそれを実感した。国際協力ができていれば日本の未来は明るいと思う。	女性

## 【図1.2】「日本の未来」が暗いと思う理由(自由回答一部抜粋)

Q.あなたが、「日本の未来」について暗いとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

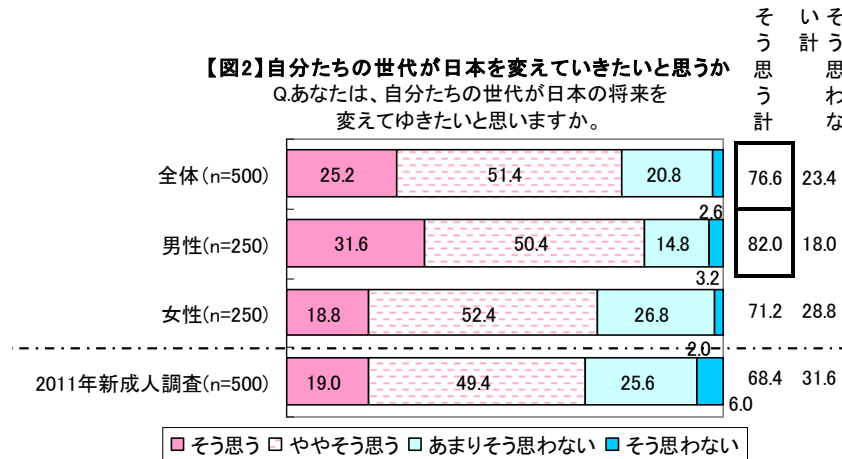
コメント	性別
リーダーシップをとるべき人たちが日本の将来のビジョンを提示できていないので、国民もあまり楽観的になれていないから。そしてその気持ちが経済や政治・外交などの面に波及しないかという懸念があるから。	男性
東日本大震災から9か月が経とうとしているのに、震災復興が全然進展しておらず、国会内でも民主党がしっかりとした復興政策を明確にできていないため、話がうまく進んでいない。原発関連問題も早期に解決しなければ、周辺住民の未来がなくなってしまうし、放射能汚染のさらなる拡大は国際問題にも発展しているため。	男性
GDPを中国に抜かれ、少子化も進み、成長の伸びが停滞していると思うから。社会福祉が厚いことで逆に財政を圧迫しているから。増税を繰り返していることが財政難を表している。	女性
まず、今問題になっている原発事故の収束にとっても長い時間がかかる。長い目で見た時にも、我々の子孫にも影響を与えざるを得ないと思う。また、今の政治・経済状況もよい方向に向かっているとは、あまり思えないから。	女性
お金があれば、未来が明るいわけではないと思いたいけど、経済状況が未来に左右するのは確か。大学で勉強すればするほど、労働問題や格差社会、ジェンダーに関する問題など、人々が生きづらい状況になる問題を日本が抱えているのは確かな現実。今のままの状況が続けば、不安と不満が積載して後ろ向きになる状況にならざるを得ないのではないかな。残念だけど。	女性
もう日本の経済成長は見込めないため、企業は海外にどんどん進出していく。そうすると日本の経済は縮小するし、雇用も減少する。企業経営のありかたに変化がなければ日本人の生活は苦しくなっていく一方だと思うから。	女性
国民意識が日本の未来がどちらかと言えば暗いと感じていると思うから。政治家が悪い・環境が悪いなどは思わないが、1人1人の意識が暗いと感じていると思う。	女性
世界の人口はどんどん増えていっているのに日本は少子化がすすんでいるということは、日本に日本人の働き手が少なくなるために低賃金で働く外国人労働者が増えると思う。そうすると日本にお金はますますなくなりデフレが進み貧富の差が広がるのではないかなと思うからです。	女性
総理大臣はころころ変わり、世界から日本は確実に信用されていないし、貧富の差は開く一方だと思う。今の日本は、先が全く見えない状況にあると思うから。	女性
復興やTPP参加など様々な問題を抱えているのに政治が不安定。強いリーダーシップのある人がおらず、政党間で足の引っ張り合いばかり。景気が良くなる見通しもない。	女性
老人を居座らせ若者は雇止め、格差の拡大、一度落ちたらやり直しがきかない社会構造、足の引っ張り合いばかりで危機感のない政治家などの現状を改善しなければ日本の将来は暗い。	女性

■ 自分たちの世代が“日本を変えてゆきたい”と思う人は77%、昨年比8ポイント上昇

自分たちの世代が日本を変えてゆきたいと思うか尋ねたところ、「そう思う（そう思う+ややそう思う）」と回答した人は77%となりました。一方、「そう思わない（そう思わない+あまりそう思わない）」と回答した人は23%でした。男女別にみると、男性で「そう思う」と回答した人は82%と女性に比べ10ポイント高くなっています。『2011年 新制人に関する調査』と比較すると、「そう思う」と回答した人は8ポイント上昇しています。（図2）

日本をどのように変えてゆきたいか、日本はどうあるべきかを具体的に尋ねると、「個人個人が社会貢献すること」「一人一人が国民年金をしっかりと払うこと、そしてそのような対策を政府がとること」「日本をもっと海外にアピールすること」「国民にもっと情報開示すること」など様々なコメントが寄せられました。

（図2\_1）



【図2\_1】日本をどのように変えていききたいか、日本はどうあるべきか（自由回答一部抜粋）

Q.あなたはどのように、日本を変えてゆきたいと思いませんか。  
日本はどうあるべきか、自身で考えていることなどご自由にお書きください。

コメント	性別
デフレ・円高からの脱却、復興財源を確保するために円をもっと供給する必要がある。また、少子高齢化を緩和するためにも高齢者医療費を減らし子供を増やすために充てていくべき	男性
安心が出来る日本へ。資源の少ない日本が世界に立ち向かえるのは考える能力や技術。これを生かすべきだ。	男性
個人としてできることは限られているが、個々がしっかりと社会貢献していけばおのずと日本は変わっていくと思う。日本はこれから中国などの発展してきている国に圧倒されていくと思うが、自分を見失わず日本しかできないことをちゃんとやっていけばいいと思う。世間で言われているほど焦る必要はないと思う。	男性
このままでは将来、年金を受け取れなくなる人が現れる可能性があり、さまざまな問題が発生すると思います。それを防ぐために、国民一人一人がしっかりと保険料を支払い、またそのような対策を政府がうつべきだと考えます。つまり、私たち日本国民が、将来の日本のために何かできることを考えていかなければならないと思います。	男性
私は、日本をもっと世界にアピールできる国にしていきたいと考えています。理由は、現在の日本はアメリカとの協力関係などが断ち切れず依存しているだけでなく、いまだ非常任理事国である状態などからも世界的立場は高くないと考えています。また、そのような関係はいつまでも継続していけるものでもないで、国を変えるためにはそのような体質を変える必要があるとも考えています。ですので、国内ばかりをみるだけでなく、今まで以上に外交に力を入れ、しっかりとした立場を築くようにすべきだと考えます。	男性
日本を世界にあらゆる面で誇れる「誉の国日本」を目指したい。アメリカや中国などの大国を相手に堂々と意見し、時には自ら世界の安定のために平和的な行動をとるような国にしたい。教育に力を入れ、日本という文化をさらに発展させたい。	男性
様々な面で賢い国に変えていきたい。というも今の日本に足りないのは戦前の日本や今の中国やアメリカなどのように国際社会における自らの「ずる賢さ」が足りない、つまり極端に言えば馬鹿正直な国民性であると思う。今後の日本は非常に厳しい国際社会の中を生き抜くためにより「ずる賢く」あるべきであると思う。	男性
このままいくと日本は先進国から遅れて、先進国じゃなくなる可能性もあります。もっと日本は世界をリードしてほしいです。そのためにも日本は、新しい技術や考え方を発信し続けてほしい。	女性
とにかく国民へ情報開示をすべき。今回の震災の時も隠しごとばかりで信用ができない。信用してもらうためにはまず正確な情報を国民へ伝えることが必要。マスコミも、国民に伝えるべきことを優先して伝えるべき。	女性
もっとグローバルにする。日本は視野が狭すぎるし、ルールや見た目のまじめさなどにこだわり過ぎて、あまり一人の人間の中身を見ていない気がする。それにいまだに英語教育はなっていないし、これからは小学生くらいになったらほとんど英語は話せるくらいにして、中学生以降は第二ヶ国語を学ぶくらいにしなければいけないと思う。さらにもっと個人の能力を伸ばすために、専門教科を早い段階から設けるべきだと思う。後、教育は平等に受けさせるべきだと思うので、政府は大学までの授業料は無償化するべきだと思う。	女性
医療制度を改革しなくてはならないし、高齢化社会が進むなか、高齢者に対しての制度をもっとやさしいものにしてはならないと思います。	女性
医療費や教育費など補助が、ヨーロッパに比べて良くない。そのため、もっと社会保障に力を入れるべきである。たとえ保険料を高くすることになってもいいと思う。	女性

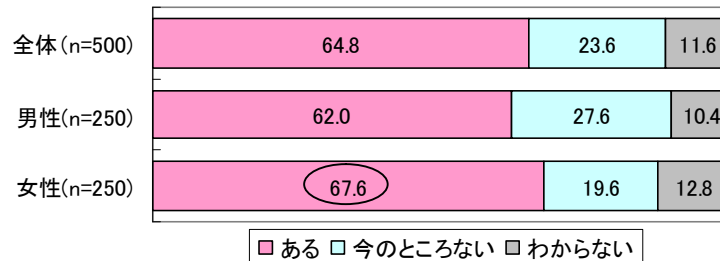


■ 2012 年の新成人、6割強は「将来の夢がある」

今年成人式を迎える新成人に「将来の夢」があるかを尋ねたところ、将来の夢が「ある」と回答した人は65%、「今のところない」と回答した人は24%、「わからない」と回答した人は12%でした。(図3)

また、「将来の夢」について具体的に尋ねたところ、‘仕事(職業)’に関する夢の内容が多く挙がっていました。それ以外では‘地元福島で暮らすこと’‘良妻賢母になること’といったコメントがありました。(図3\_1)

【図3】将来の夢  
Q.あなたには、将来の夢がありますか。



【図3\_1】将来の夢(自由回答一部抜粋)

Q.あなたの将来の夢は何ですか。できるだけ具体的にお知らせください。

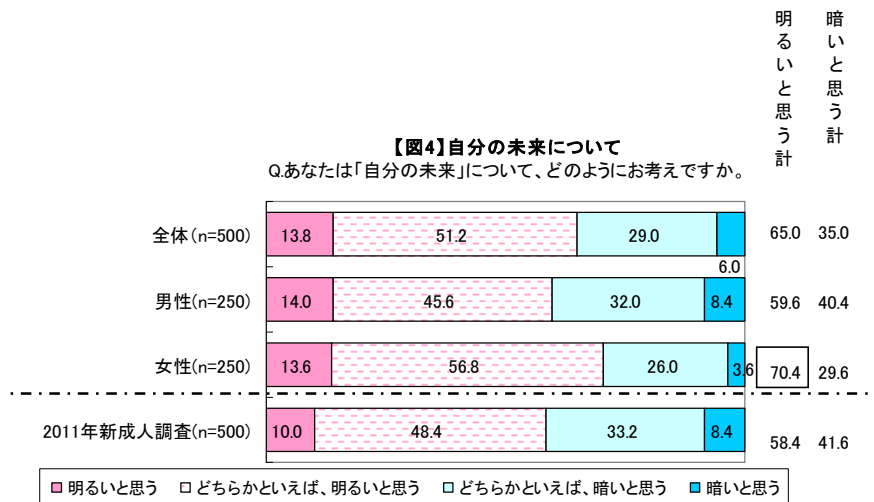
コメント	性別
ギネス記録の認定員になって世界中を飛び回る。副業で稼いで、自由に暮らす。	男性
医師となり、地元の人々に貢献したい。	男性
一級建築士と一級建築施工管理技士の資格を取得する。あと彼女をつくる。	男性
英語や中国語など外国語に長けるようになって、日本に加えて海外でも活動すること。論理的な文章を書く能力を高めていって、文筆・言論の活動をすること。	男性
企業弁護士になって、大きな組織を独自の専門的知識や能力を活用しながら動かしてみたい。そしてその後は大学院などに戻り、社会についての研究をしながら、若年層の教育に携わって未来を活気づけていきたい。	男性
仕事では店長になること、私生活では結婚して子供を授かり、家族で幸せな家庭を築くこと	男性
私の将来の夢は、会社・業界を引っ張っていける技術者になることです。具体的にはプロジェクトマネージャとしてプロジェクトのメンバーやお客様と積極的にコミュニケーションを図っていき、高い技術力でお客様の要望にきちんと応えられるような技術者になることを目指しています。また仕事だけでなく地域や国、世界のボランティアなど人のためになる活動をプライベートでも積極的に参加していける社会人になりたいと考えています。	男性
地元福島で就職し、福島で結婚し、福島で暮らすことです。今年の震災で福島県は原発事故の風評被害など、多くの問題を抱えてしまいました。しかし私は地元福島が好きで、なんとか震災以前の福島に戻ってほしいです。そのためにも福島という地でこれからの将来を過ごすことが少しでも復興につながるのではないかと思います。	男性
臨床検査技師の資格をしっかりと取ってから、大学院で臨床心理学専攻の学科に進学する。または社会医学の研究室で法医学の基礎を学び、法医学教室で研究をする。	男性
30代まで働いてお金をためてそれから自分で開業する。その間に結婚もして子供もいる幸せな家庭を築く。	女性
イラストで飯を食べていくこと。死ぬまで絵を描きつづけること。	女性
デザイナーかスタイリストかパタンナーかソーイングスタッフになりたい。もしくは、自分でお店を持ちたい。	女性
どこかの企業に就職する、自分の趣味の時間も作れるような職場で働く。結婚して働きながらかは分からないが、子供を複数人しっかりと育てて、良妻賢母になる。	女性
医師になって、人の役に立つことです。	女性
一般企業に入り、ある程度の収入を得ながら、趣味の作曲を続けていくこと	女性
海外での勉強、経験を生かして日本での外資系企業でキャリアを積み30代前に生活拠点を海外に移しそこでキャリアを発展させる。	女性
患者さんに信頼される、人の気持ちに寄り添える看護師になること。そして、人を癒し笑顔にできる人間になること。	女性
管理栄養士の資格を取得してなんらかの形で生かす。海外に興味があるので、管理栄養士として海外青年協力隊に参加してみたい気持ちもある。はっきりした夢はまだない。	女性
現在教育系の大学に通っており、小学校、特別支援の資格を取得したいと考えている。まだどちらの道に進むかは決めていないが子どもと関わる仕事に就きたいと思っている。	女性
公務員として働くことでできれば県庁で市役所に入れればいいと思う。共働きで子供は2人、一戸建てに住み、往年は国内旅行にいそしむ。子供が生まれる前には海外旅行を沢山行ってみたい。	女性
自立するだけの経済力を身につけて一人暮らしをする。また、仕事だけに時間をとられず自分の時間を持てる暮らしをするのが夢。	女性
小さいときからダンスを習い続けているのでダンス関係の仕事につきたいです。自分で踊らなくても裏方などダンスに関わる仕事ならなんでもやりたいです。	女性
正社員になって自立できるぐらい稼いで、好きな人と結婚して子供を産んで幸せで素敵な家庭を作ること。	女性
本が好きなので、本にかかわる仕事をする。もしくは音楽・演劇に関係のある仕事をする。	女性
幼稚園教諭、または保育士。いつかは、絵本作家。結婚して子どもを産んで、幸せな家庭を築きたい。	女性

■ “自分の未来”は「明るい」と思う 65%、「暗い」と思う 35%

「自分の未来」についてどう考えているか尋ねたところ、「明るいと思う（明るいと思う+どちらかといえば、明るいと思う）」と回答した人は 65%となりました。一方、「暗いと思う（暗いと思う+どちらかといえば、暗いと思う）」と回答した人は 35%でした。（図 4）

自分の未来について「明るいと思う」理由を具体的に尋ねると、「ポジティブに考えたい」「勉強や経験が将来に役に立つと思うから」などのコメントがありました。（図 4\_1）

一方、自分の未来について「暗いと思う」理由を具体的に尋ねると、「就職難だから」「大学で学びたいことが見つからないから」といったコメントが見受けられました。（図 4\_2）



**【図4.1】「自分の未来」が明るいと思う理由（自由回答一部抜粋）**

Qあなたが、「自分の未来」について、明るいとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

コメント	性別
悪いことも結局は自分の気の持ちよう次第では明るくなるから。ポジティブに考えたいから。	男性
今の成績では、夢をかなえることが難しいと感じているが、だからと言って、路頭に迷ったり、犯罪に手を染めるようなことは絶対にしないという確信があり。今の時点で結婚願望もあるので、婚期を逃すこともないと思うから。ある程度幸せに暮らせるのではないかと考えている。	男性
今までは親や先生方、友人など多くの方々に世話になることが多かったですが、これからは自分の手で逆に手助けしていける力や実力を身につけることができると同時に、自分の手で世の中を変えていくという高い目標や達成感を持って過ごすことができると考えたので。	男性
アルバイトや大学での勉強でいろんな知識と経験を得て、これは将来につながっていくと思うから。	女性
まだ自分で何をするかを決められて、女性も立派にやっていける社会になりつつあるから	女性
暗い未来を想像しても仕方ない。最初から暗い未来を想像していたら本当に暗い未来が来てしまいそうだから。未来がどうなるかは誰も分からないことだから、ポジティブに考えたい。	女性
自分で明るくしなきゃ生きていけないから。いまから自分の人生は将来暗いなんて考えていたら生活していけない。	女性
就職活動や、その後に多くの困難があるとしても、一つ一つ乗り越えることに達成感や充実感を見いだせることができれば自分の未来は、明るいものになると思う。	女性
人生楽しんだもん勝ちだと思っているので、明るい未来を想像して損はしないだろうと思う。	女性

**【図4.2】「自分の未来」が暗いと思う理由（自由回答一部抜粋）**

Qあなたが、「自分の未来」について、暗いとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

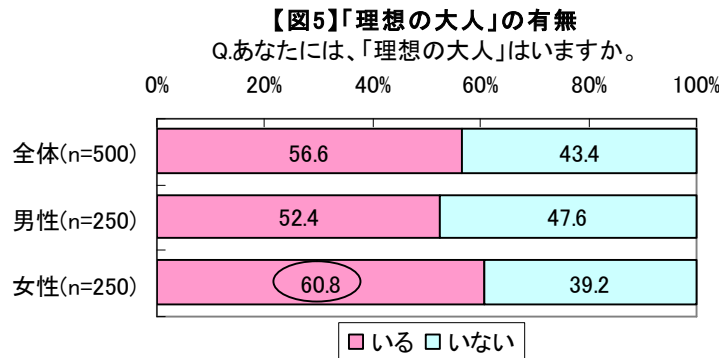
コメント	性別
景気が回復見込みがなく、就職できるかも不安である。またグローバル化により企業がどんどん海外に移転しまっているのも不安材料である。	男性
景気は停滞の一途をたどっているし、年金だつとられるだけ取られて自分たちに給付されるかどうか分からないから。	男性
三流大学に入り、その中でも1番ではないから。勉強できないから。友達が少ないから。	男性
就職難と言われているため、良い職に就けるか心配だから。	男性
定職に就いてない。お金がない。家計が火の車。貧乏。	男性
「こうできたらいいな」という願望はあるけど、明確な目標がない。どこも目指す場所が無いから。	女性
かなえない夢があり、自分の一番好きな分野の専門学校にいったが辞めてしまい、今現時点働いてないので。	女性
就職活動も大変そうだし、大学を出てもよい会社に入れるかわからないから	女性
就職難以前にやりたいことが見つからないし大学を卒業できるかも分からない	女性
大学に入ったもののこれと言って学びたいことも浮かばないし、趣味特技もなく、就活に大きな不安を感じるから。	女性

## II. 「理想像」について

### ■ 6割弱の新成人に、理想の大人が「いる」

「理想の大人」がいるか尋ねたところ、「いる」と回答した人は57%となりました。

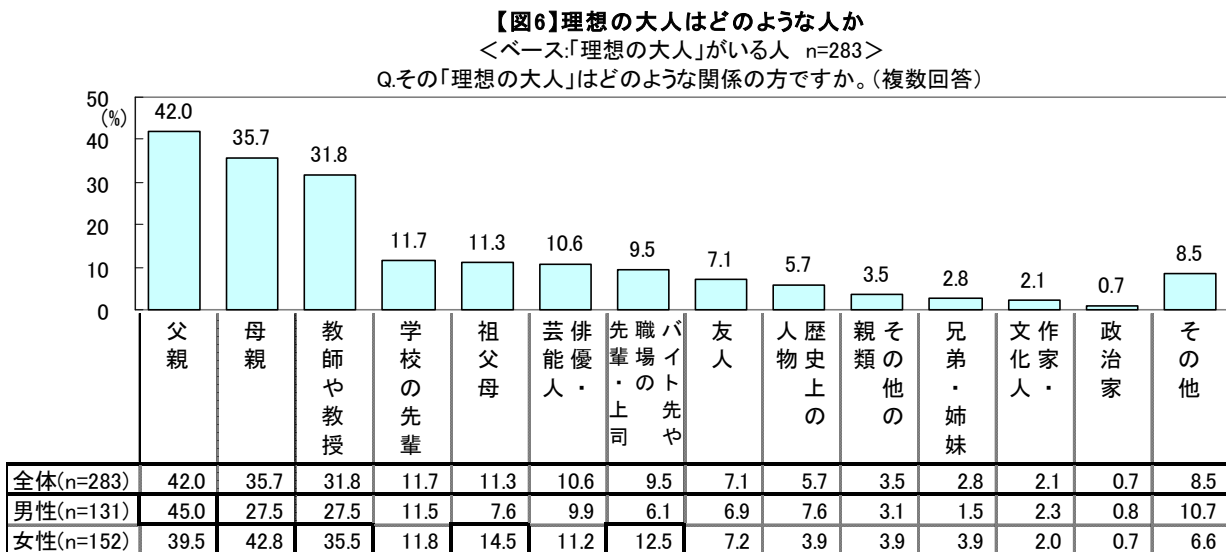
男女別にみると、男性で「いる」と回答した人は52%に対し、女性で「いる」と回答した人は61%と、男性に比べ8ポイント高くなっています。(図5)



### ■ 理想の大人：男性は「父親」42%、女性は「母親」36%

理想の大人がいると回答した人に、理想の大人はどのような関係の人なのかを尋ねたところ、全体では「父親」が42%で最も多く、次いで「母親」が36%、「教師や教授」が32%となりました。

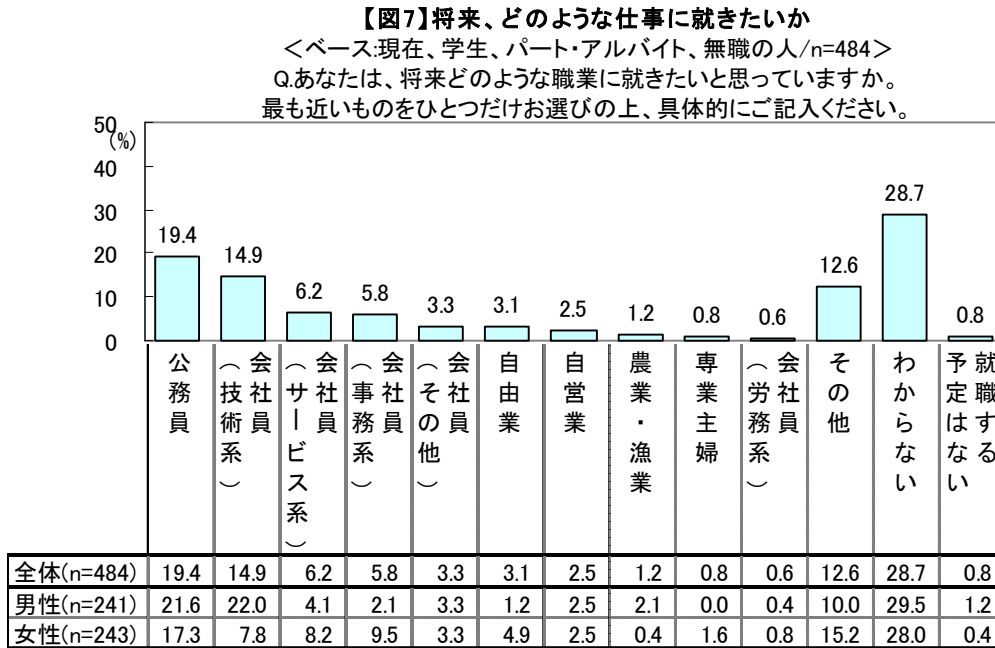
男女別にみると、男性では「父親」が45%で最も多く、次いで「母親」「教師や教授」が各々28%となっています。一方、女性では「母親」が43%で最も多く、次いで「父親」が40%となっています。男女とも同性の親を理想像とする傾向がみられました。(図6)



### Ⅲ. 「就職」について

#### ■ 将来、希望する職業は「公務員」が2割、会社員では技術系が人気

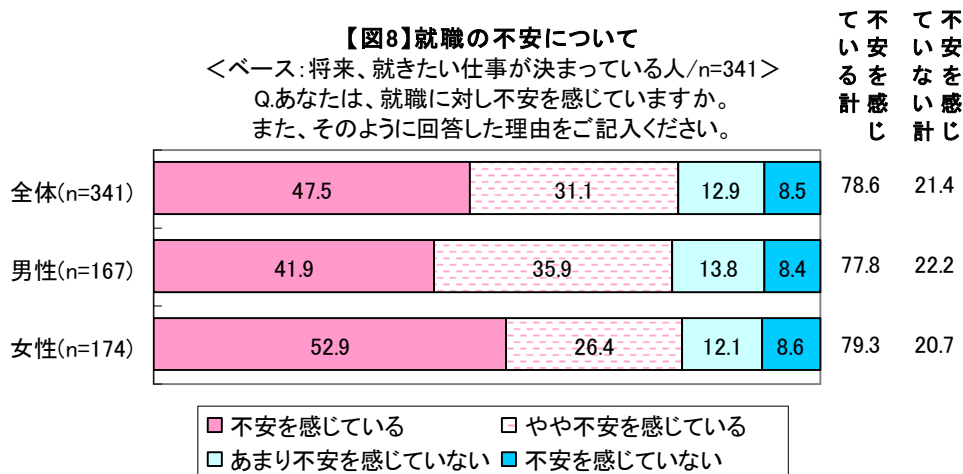
現在、学生、パート・アルバイト、無職の人に、将来どのような職業に就きたいか尋ねたところ、「公務員」が19%、次いで「会社員（技術系）」15%、「会社員（サービス系）」「会社員（事務系）」が各々6%となりました。公務員では、「地方公務員」「教員」を希望する人が多いようです。一方、約3割の人がまだ決めかねているようです。（図7）



#### ■ 就職に対して不安を感じている人は79%

就きたい仕事が決まっている人に、就職に対して不安を感じているか尋ねたところ、「不安を感じている（不安を感じている+やや不安を感じている）」と回答した人は79%に達しました。（図8）

なぜ不安を抱いているか尋ねたところ、「先輩たちの就職難を見ているから」「募集人員が少ないから」「正社員になれるかどうか不安だから」といったコメントが多々見受けられました。



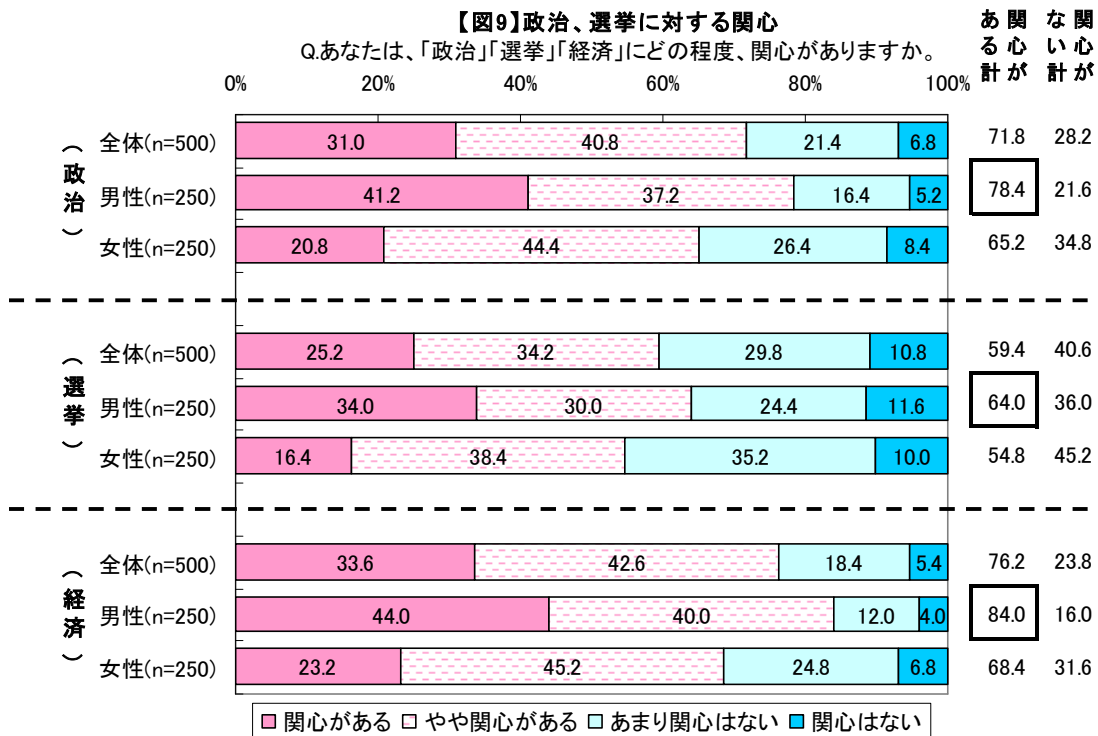


IV. 「関心ごと」について

■ 今年の新成人、72%が「政治」に、76%が「経済」に関心があり

政治・選挙・経済に対する関心を尋ねたところ、政治に対して「関心がある（関心がある+やや関心がある）」と回答した人は72%、選挙に対しては「関心がある」と回答した人は59%となりました。また、経済に対して「関心がある」と回答した人は76%となりました。

男女別にみると、政治・選挙・経済のいずれにおいても、男性は女性に比べ「関心がある」という回答が高くなっています。（図9）



## ■ 今年の新成人、約6割が「若者の就職率が低いこと」に関心を持っている

関心を持っている国内の政治・経済・社会問題について尋ねたところ、「若者の就職率が低いこと」が63%で最も高く、次いで「増税」「年金制度に関する問題」が各々45%となっています。(図10)

【図10】関心を持っている国内の政治・経済・社会問題 (n=500)

Q.あなたが関心を持っている国内の政治・経済・社会問題は何ですか。(複数回答)

順位	関心がある 国内の政治・経済・社会問題	%
1	若者の就職率が低いこと	63.4
2	増税	45.2
	年金制度に関する問題	
4	震災地の復興が遅れていること	39.4
5	TPP(環太平洋経済連携協定)	39.0
6	原子力発電所に関する諸問題	38.4
7	少子高齢化	38.2
8	日本の財政赤字	38.0
9	政治家に関する諸問題	36.8
10	非正規雇用の増加	34.2
11	日本の教育水準の低下	30.8
12	円高問題	30.4
	食品や土壌などの放射能汚染に関する問題	
14	食料自給率に関すること	28.2
15	医療制度に関する問題	26.8
16	公務員に関する諸問題	24.8
17	領土問題	24.6
18	沖縄の基地問題	22.2
19	農業の後継者問題	20.6
20	環境破壊	18.8
21	日本のGDPの減少(中国に抜かれ世界3位に)	17.6
22	国民間で経済格差の拡大	16.6
23	防衛、安全保障に関すること	15.6
24	サイバー攻撃	13.8
25	株価が低調なこと	13.6
	過疎化問題	
27	地方自治に関すること	11.6
28	企業の法令順守	7.0
-	その他	0.6

## ■これから日本が取り組むべきと思うことは、「雇用対策」が70%で最多

これから日本が取り組むべきと思うことについて尋ねたところ、「雇用対策」が70%で最も高く、次いで「景気対策」が66%となっています。やはり、就職に関心が高い新成人は雇用、景気に関心が高いようです。

(図 11)

【図11】これからの日本が取り組むべきと思うこと (n=500)

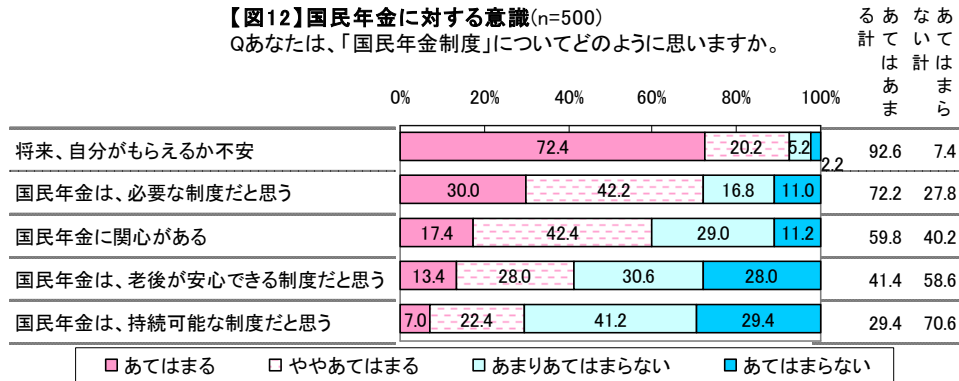
Q.これからの日本が取り組むべきだと思うことは何ですか。(複数回答)

順位	取り組むべきと思うこと	%
1	雇用対策	70.2
2	景気対策	65.6
3	年金制度の充実・改善	63.0
4	被災地復興	54.8
5	放射能問題への対策	51.6
6	少子化対策	48.6
7	医療制度の充実・改善	46.8
8	エネルギー問題への取り組み	43.0
9	外交問題への取り組み	41.0
10	教育改革	39.6
11	税制度の見直し	38.2
12	地方の活性化	36.6
13	環境問題への取り組み	33.8
14	行政改革	32.4
15	中小企業への支援	32.2
	格差問題への取り組み	
17	財政健全化の推進	29.4
18	物価・デフレ対策	29.2
19	農林水産業対策	27.0
20	科学技術の振興	26.6
21	日本の魅力の海外発信	24.4
22	文化・スポーツの振興	24.2
23	防衛・安全保障	24.0
24	国際平和への積極的貢献	19.6
25	治安対策	17.8
26	地方分権の推進	17.4
-	その他	2.8
-	わからない	4.2

## V. 「国民年金」について

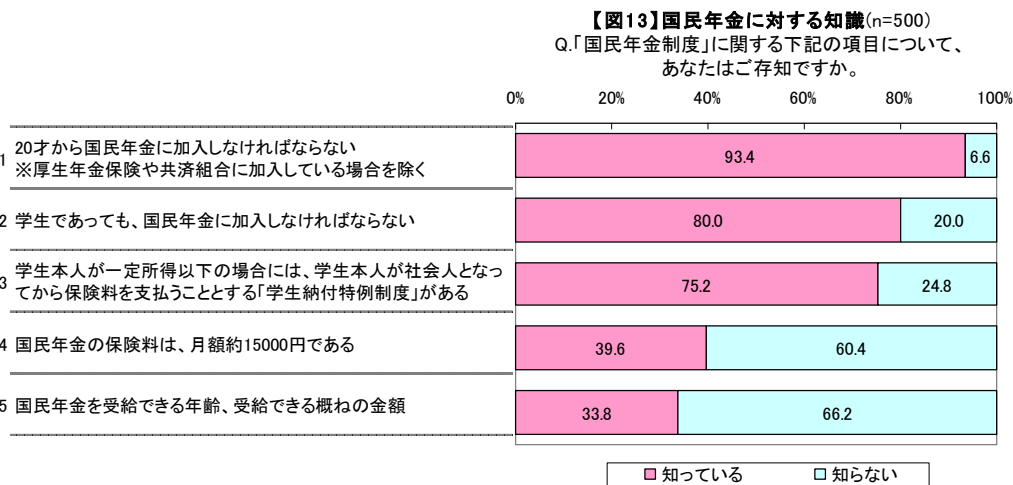
### ■ 9割以上が、「国民年金は、将来、自分がもらえるか不安」と感じている

国民年金制度についてどのように思っているか尋ねました。「あてはまる計（あてはまる＋ややあてはまる）」でみると、「将来、自分がもらえるか不安」と思っている人は93%、「国民年金は、必要な制度だと思う」は72%となっています。一方、「国民年金は、持続可能な制度だと思う」は29%となっています。今年の新成人は国民年金制度を必要な制度だと思っていますが、将来的には不安があり自分がもらえるか疑問を抱いている人もいます。（図12）



### ■ 8割以上が「学生であっても20才から加入しなければならない」ことを認知

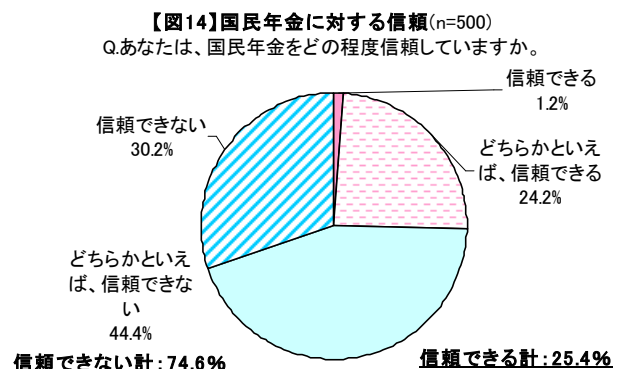
国民年金制度に関する知識について尋ねたところ、学生であっても20才から加入しなければならないことを8割以上の人認知していました。月額保険料、受給できる年齢や受給できる概ねの金額に関しては3～4割の認知に留まっています。（図13）



### ■ 国民年金制度を「信頼できない」人は75%、「信頼できる」人は25%

国民年金をどの程度信頼しているか尋ねたところ、「信頼できる（信頼できる＋どちらかといえば信頼できる）」と回答した人は25%に留まっています。

一方、「信頼できない（信頼できない＋どちらかといえば、信頼できない）」と回答した人は75%を占めています。（図14）





VI. 「海外」について

■ 7割が「外国語の習得」「海外旅行」、5割が「海外留学」に関心あり

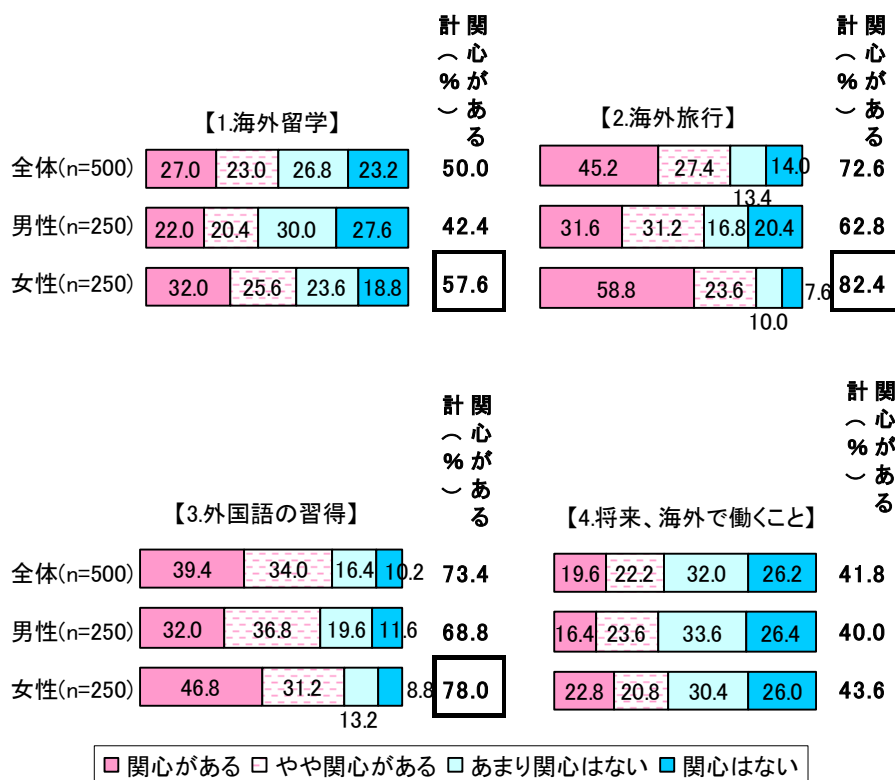
海外について尋ねたところ、「外国語の習得」「海外旅行」に対しては73%、「海外留学」に対しては50%の人が「関心がある（関心がある＋やや関心がある）」と回答しました。

男女別にみると、いずれも女性は男性に比べ関心が高く、「海外旅行」は20ポイント、「海外留学」は15ポイント、「外国語の習得」は9ポイント高くなっています。（図15）

関心がある留学先では「アメリカ」が69%でトップ、関心がある旅行先では「フランス」「イタリア」が各々62%で上位2、関心がある外国語では「英語」が96%で圧倒的にトップ、次いで「中国語」が32%となっています。（図15\_1）

【図15】海外に対する関心（n=500）

Q.あなたは、下記の項目についてどの程度関心がありますか。



【図15\_1】関心がある留学先、旅行先、外国語

関心がある「外国語」		
順位	全体(n=367)	(%)
1	英語	95.6
2	中国語	32.2
3	フランス語	23.2
4	ドイツ語	20.7
5	韓国語	15.0

関心がある「旅行先」		
順位	全体(n=363)	(%)
1	フランス	62.3
2	イタリア	61.7
3	イギリス	59.5
4	アメリカ	57.3
5	ドイツ	52.1

関心がある「留学先」		
順位	全体(n=250)	(%)
1	アメリカ	68.8
2	イギリス	50.4
3	カナダ	39.6
4	オーストラリア	35.6
5	ドイツ	27.6

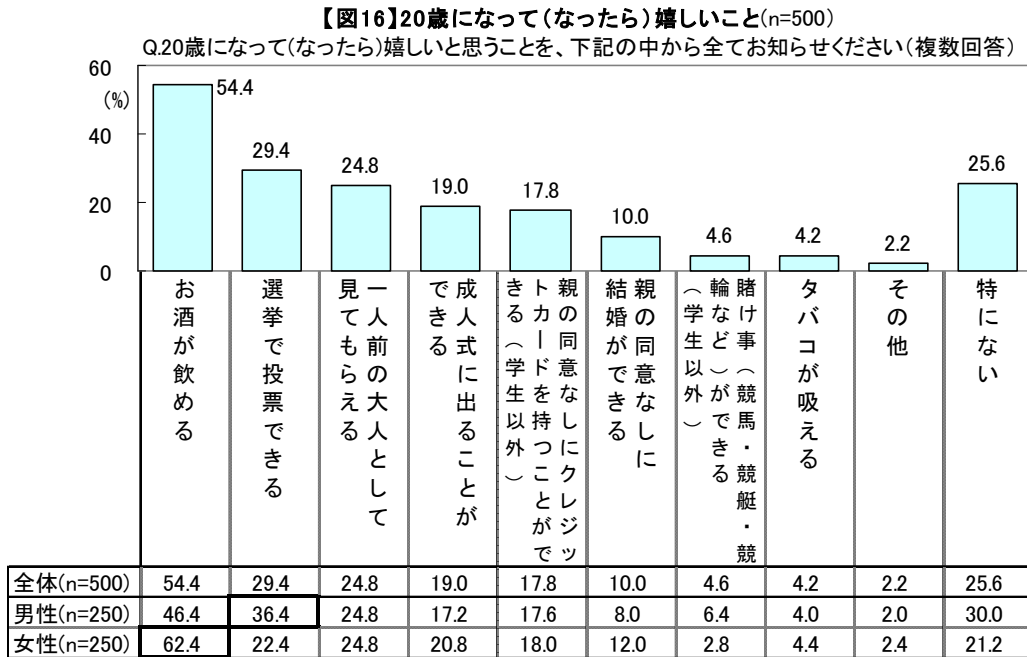
関心がある「就職先」		
順位	全体(n=363)	(%)
1	アメリカ	64.4
2	イギリス	45.4
3	ドイツ	42.7
4	フランス	38.3
5	イタリア	37.1

VII. その他（「20 歳になって嬉しいと思うこと」「消費、男女観、結婚観、人生観」）

■20 歳になって嬉しいと思うこと、1 位「お酒が飲める」54%、2 位「選挙で投票できる」29%

20 歳になって嬉しいと思うことについて尋ねたところ、「お酒が飲める」が 54%で最も多く、次いで「選挙で投票できる」が 29%、「一人前の大人として見てもらえる」が 25%となっています。

男女別にみると、女性では「お酒が飲める」が 62%と男性に比べ 16 ポイント高く、男性では「選挙で投票できる」が 36%と女性に比べ 14 ポイント高くなっています。（図 16）



■ クーポン活用で“賢く買い物”9割。“環境を意識した消費”5割強

消費、男女観、結婚観、人生観について尋ねました。「クーポン券やポイントカードを活用して賢く買物をしたい」と考える人は93%、「衝動買いよりも、比較検討をして買い物をする人が多い」は78%と、男女とも堅実な消費行動が見受けられます。また、「地球環境を配慮した消費をしている」は54%と‘エコ・エシカル’な消費行動が見受けられ、男女別にみると特に女性でその傾向は強く見られます。

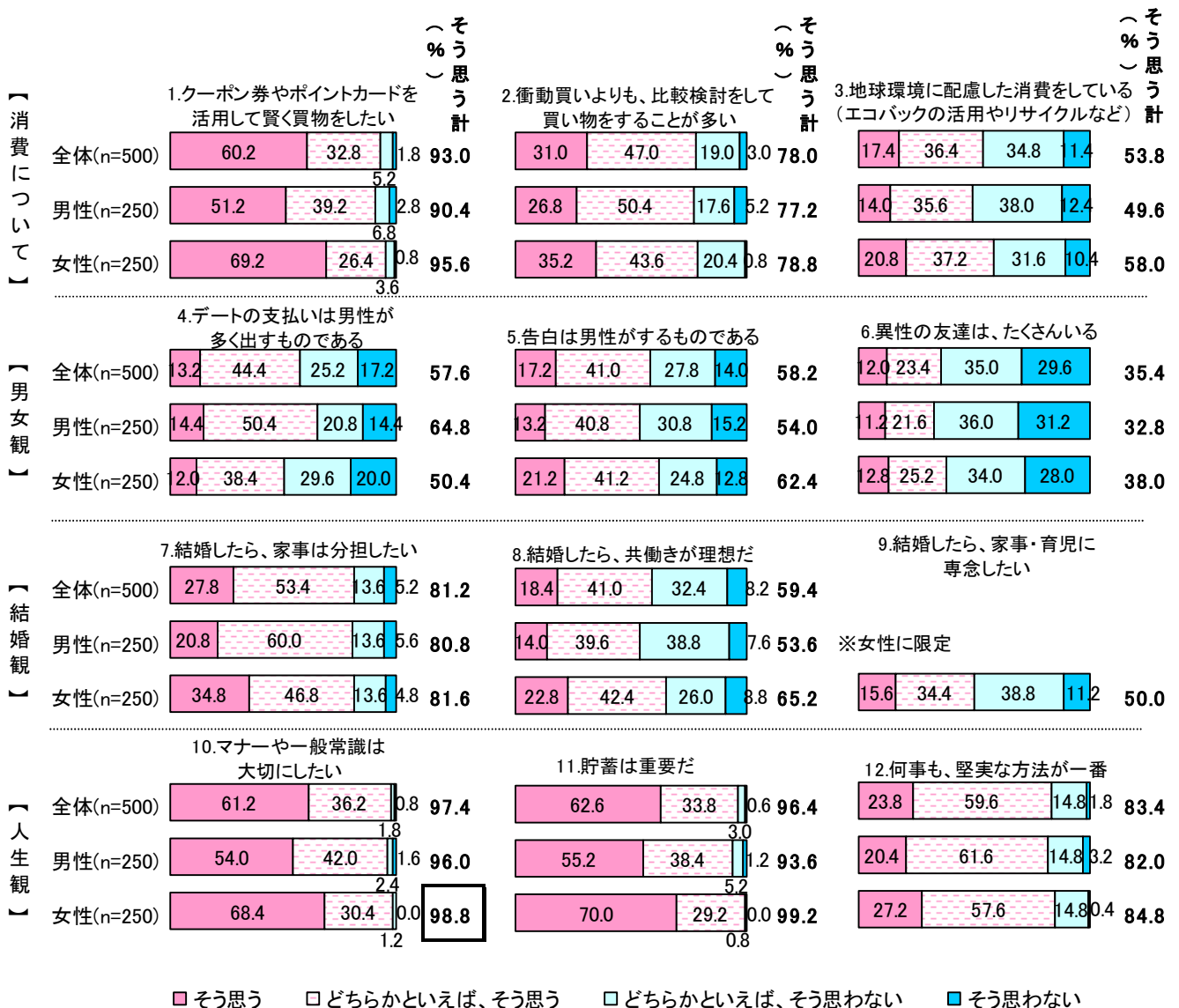
男女観については、「デートの支払いは男性が多く出すものである」という考えについては男性で65%（女性では50%）と男性が上回っていますが、「告白は男性がするものである」という考えについては男性で54%（女性では62%）と女性が上回っており、男性の恋愛における‘奥手さ’が窺えます。

結婚観については、「結婚したら家事は分担したい」という考え方は男女とも8割を占めています。一方、「結婚したら共働きが理想だ」という考え方は女性が65%に対し、男性は54%に留まっています。女性は男性が考えているより‘結婚しても働きたい’と思っているようです。

人生観については、ほぼ全員が「マナーや一般常識は大切にしたい」「貯蓄は重要だ」、8割以上が「何事も、堅実な方法が一番」と考えており、長期に渡る不況下で培ってきた‘真面目さ’を窺い知ることができます。（図17）

【図17】消費、男女観、結婚観について (n=500)

Q.下記に示した意見に対して、あなたご自身の考えを「そう思う」～「そう思わない」でお答えください。



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内100万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル  
 本社 ■東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075  
 URL ■www.macromill.com  
 設立 ■2000年1月31日  
 資本金 ■16億2,611万円 ※2011年12月1日現在  
 上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）  
 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉  
 従業員数 ■548名 ※2011年11月末現在  
 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報室：大野  
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075  
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

＜例＞ 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

